

2010年3月期 決算説明会質疑応答



日 時：平成 22 年 5 月 12 日（水） 10：00～11：00

場 所：東京証券取引所 6階セミナールーム（社団法人日本証券アナリスト協会主催）

質疑応答要旨

質 問	回 答
Q. PS-SOD 吸入製剤の導出時期は、フェーズⅡaの終了後と考えてよいか？	A. フェーズⅡa終了後の導出が最も可能性が高いが、それ以前での導出についても複数の製薬企業と交渉をおこなっており、早期実現を目指している。
Q. 当期の業績予想で見込んでいる創薬事業の収入の内容はどのようなものか？	A. 製薬企業との共同研究の実現による収入等を主要要因として見込んでいる。尚、創薬事業の売上予想には、過去に上市した医薬品のロイヤリティー収入分も含んでいる。
Q. 北京泰徳製薬の売上構成及び売上、利益の規模を知りたい。	A. 当社が開発したりポ PGE (商品名:カイン) がおよそ 80%、同じく当社が開発したロピオン (商品名:カイフェン) が 20%。尚、現在新たに 2 品目の承認がとれているほか、申請中のものもあるため、今後は新しい医薬品の構成比が増える見込み。売上については 100 億円超の売上規模で利益はその 3 割程度となっている。
Q. PC-SOD は特発性間質性肺炎と潰瘍性大腸炎の 2 つについてフェーズⅡを行っているという理解でよいか？	A. 特発性間質性肺炎と潰瘍性大腸炎を適応症とした PC-SOD のフェーズⅡは注射剤においては終了しているが、現在は、患者様への負担が少ない吸入製剤を優先に開発している。吸入製剤は特発性間質性肺炎を適応症としており、今期フェーズⅠを開始する予定。また、潰瘍性大腸炎については経口剤での有効性が確認できているため、今後の研究テーマとして考えている。尚、注射剤においてもライセンス交渉は継続している。
Q. AS-013 のフェーズⅢの開始時期はいつごろになりそうか？	A. 現在ライセンス先の北京泰徳製薬とともに試験プロトコルを検討している段階であり、開始時期は今後決定していく。
Q. 業績予想における営業利益と経常利益の差分については、受取配当金及び助成金による収入が主要要因と考えてよいか？	A. はい。

<p>Q. 研究開発プロジェクトの推進や中止といった重要な経営課題におけるガバナンスについて会長と社長の役割分担について教えてほしい。</p>	<p>A. 取締役会や経営会議といった場で、学者でもある会長はサイエンス面から、管理畑である社長は財務・管理面からのアプローチでそれぞれの意見を出し合い、意思決定を行っている。もちろん取締役会、経営会議にはその他の役員や臨床開発責任者及び内部監査室長らも参加し、幅広い議論を行った上で意思決定を行っている。</p>
-------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------